



国土交通省 中国地方整備局

営繕職員採用案内

国家公務員一般職
(建築・電気・機械)



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau, Government Buildings Department

国土交通省の「官庁営繕」とは

国土交通省は、「官公庁施設の建設等に関する法律」（昭和26年法律第181号）に基づき、各省各庁の事務庁舎等、国家機関の建築物（官庁施設）の整備に関する業務を行っています。また、国民の共有財産である官庁施設について、行政サービスを提供する場として、災害を防除し、公衆の利便と公務の能率増進を図るため、必要な機能や性能を確保できるよう、各省各庁に対し指導及び監督を行っています。

※「営繕」とは、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替等のことをいいます。

中国地方整備局営繕部の業務と役割

国土交通省中国地方整備局営繕部では、中国地方5県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県）を管轄区域として、日常生活に馴染みの深い、法務局、税務署、公共職業安定所（ハローワーク）等の一般庁舎や、それらの官署を集約した合同庁舎などの様々な官庁施設について、整備や指導・監督を行っています。

官庁施設の整備は、特殊な施設などを除いて、原則として国土交通省の営繕部が一元的に実施しています。営繕部は、官庁施設について企画、設計、施工（監理）、保全のライフサイクルの各段階で総合的に関与し、国家機関の建築物に関する「トータルコーディネーター」としての役割を担っています。

営繕部の技術力

営繕部の役割を果たすうえで、営繕部職員には建築に関する技術力が求められます。営繕業務は建築職、電気職、機械職の3つの専門分野に分かれており、各分野の担当者が互いに密接に連携しながら業務を行っています。

営繕業務の流れ



組織

中国地方整備局における官庁営繕の組織は、本局の営繕部と岡山営繕事務所から構成されています。本局の営繕部は4課1室により構成されており、工事の企画・立案、設計及び監督を行っています。保全指導・監督室は島根県、広島県及び山口県を管轄し、岡山営繕事務所は鳥取県及び岡山県を管轄し、営繕工事及び保全指導をそれぞれ所掌しています。

■ 営繕部各課

中国地方5県の工事の企画・立案、設計等を担当

■ 営繕部保全指導・監督室

島根県、広島県、山口県の営繕工事・保全指導を担当

■ 岡山営繕事務所

鳥取県、岡山県の営繕工事・保全指導を担当



所在地：広島合同庁舎2号館



所在地：岡山地方合同庁舎



ミッションとビジョン

国土交通省の官庁営繕では、「公共建築分野において常に先導的な役割を果たす」ことをミッションと位置づけて業務を行っています。

ミッション

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たす。

ビジョン

公共建築分野のリーダーとして、時代のニーズ等に的確に対応し、官庁施設に関し、成果主義の観点から顧客に提供するサービスの価値を効率的に最大化すること。そのために、組織と職員の核心的能力を高める。

地方公共団体等への支援

中国地方整備局では、管内の県及び政令市の営繕部局と定期的に営繕及び保全について情報共有や意見交換を実施することで、地方公共団体における営繕業務をサポートしています。

また、本局計画課及び岡山営繕事務所に「公共建築相談窓口」を設け、営繕に関する質問や技術的な相談を幅広く受け付けています。

営繕における「建築設備」とは



建築設備担当の出身学科

営繕部は国家機関の建築物（官庁施設）の整備を行っています。これを聞いて「建物にも照明や空調など色々な設備が必要なことは分かっているけど、建築の知識がない私にできる仕事なのか不安」と思っているあなた。

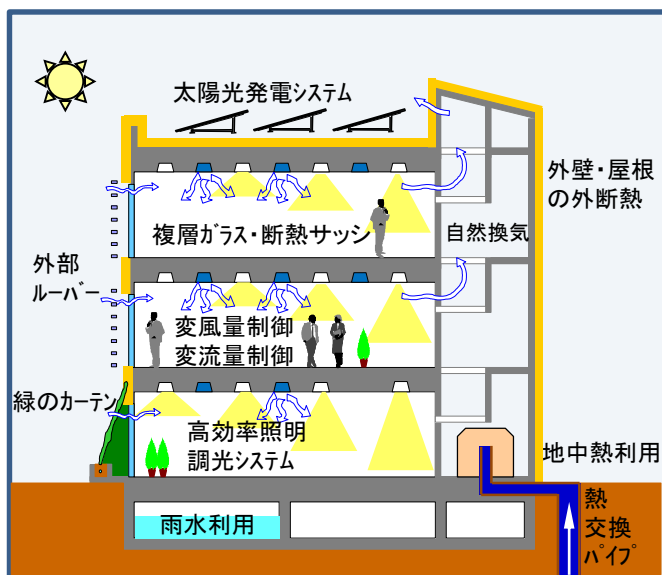
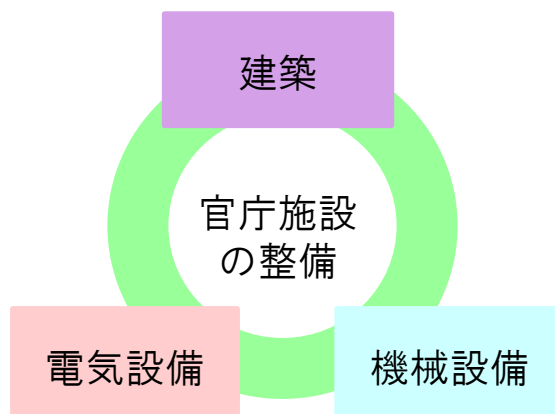
その気持ちは良くわかります。そもそも工学系の大学等で建築設備全般を教えてくれる学科はほとんど存在しません。

よって、今現在建築設備を担当している人達は、電気科、機械工学科はもとより、学科を問わず設備関係に興味を持っていることで応募し、採用後に色々と教えてもらって仕事を覚えた人達がほとんどです。つまり、そんな心配はいらないということです。

建築設備の役割

いくら立派できれいな建物を作っても、その施設の目的（庁舎、学校、研究所、美術館、体育館等）や機能を果たせなくては、それはただの箱と同じです。

その施設の用途や目的に合致した建物つくるため、建築担当と協力しながら、必要な設備を実装し、ただの箱から機能する施設へと発展させることが設備担当の役割です。



地球に優しい施設を目指す

国際的な約束事項となっている地球温暖化対策への取り組みも、官庁施設整備を担当している営繕部の重要な課題の一つです。

建物を新築・改修する際、建築担当は建物方位や庇・ルーバーの有無、断熱（内・外断熱、ガラス種類）、通風等を検討し、外部負荷を抑えたり熱を逃がす工夫をします。

設備担当は地球温暖化の直接原因となるCO₂排出量を下げるため、その施設の特徴（立地、用途、人員、業務内容等）を考慮し、省エネルギー・省資源となる各種設備（高効率照明、昼光制御、太陽光発電、地中熱利用、雨水利用等）の採用を検討します。

また、長期に設備性能を維持するために必要となる保守スペースの確保も設備担当の重要な検討要素の一つです。

適切な照明計画(執務室)



非常用照明(執務室)



アンテナと避雷針(屋上)



太陽光発電(屋上)



電気設備



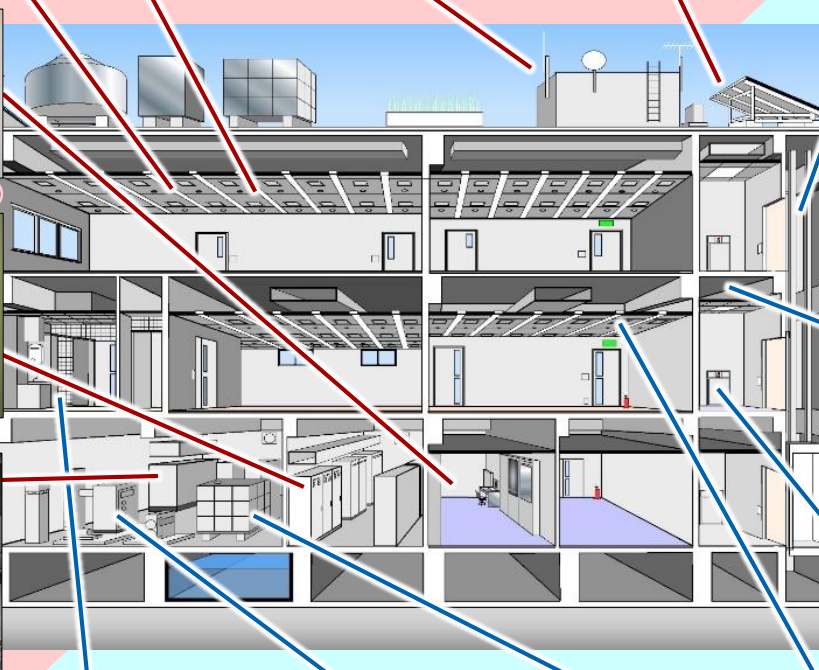
情報・通信装置(管理室)



受変電設備(電気室)



自家用発電(自家発電)



エレベーター



天井内ダクト



屋内消火栓(廊下)

機械設備



清潔なトイレ



ボイラー(機械室)



受水タンク(機械室)



空調機(執務室)

図面作成と収まり検討



設備機器を適切配置し、それらを結ぶ配管、ケーブル、ダクト等を通すルートやスペースを検討し、具体的な図面を作成します。他設備との干渉があれば必要な調整を行います。

防災・減災



官庁施設は、来訪者等の安全を確保するとともに、大規模地震発生時に災害応急対策活動の拠点として機能を十分発揮できるよう、総合的な耐震安全性を確保する必要があります。

国土交通省では、大規模災害の発生に備え、防災拠点となる官庁施設の整備を推進し、災害に強い地域づくりを支援しています。

中国地方整備局管内では、平成28年度末時点での耐震化率は90%であり、引き続き耐震化に努めています。

環境対策と木材利用の推進



国土交通省では、ライフサイクルを通じた環境負荷の低減を目指し、我が国の建築分野における環境対策の模範となる環境負荷低減に配慮した施設整備を推進しています。主な環境技術として、複層ガラス、太陽光発電、LED照明器具などを採用しています。

また、平成22年に施行された「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」に基づき、公共建築物のうち低層のものは原則として木造化すること、また、それ以外の国が整備する公共建築物でも内装等を木質化することとしています。

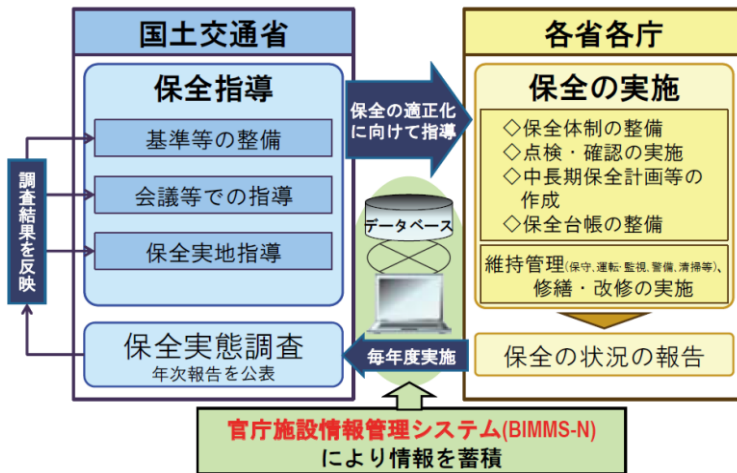
様々な耐震技術 -免震レトロフィット-

中国地方整備局では管内の官庁施設の耐震化に努めています。主な耐震改修工法としては、現場打ちコンクリート壁の増設、鉄骨ブレースの設置、柱補強等があります。

広島合同庁舎1号館では、庁舎を使いながら耐震改修工事を行うため、改修中及び改修後の執務環境等に与える影響が少ない免震レトロフィットを採用しました。地下1階の柱頭に免震装置を組み込み、必要となる耐震性能を確保しています。



保全と長寿命化



※「保全」とは、建築物が完成してから取り壊されるまでの間、安全性や執務環境等の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けることをいいます。

国土交通省では、「官庁施設情報管理システム」を導入し、インターネットを通じて、全ての官庁施設の基本的な保全※情報等を把握・分析しています。

中国地方整備局では、このシステムを利用して、保全の状況の改善が必要な施設に対する保全指導を行うとともに、各省各庁による保全に対して、実施方法や内容に係る技術的な指導や支援を行っています。

また、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業（ハード対策）や、効果的・効率的に機能維持するための保全指導（ソフト対策）を実施することにより、官庁施設の戦略的な維持管理・更新に努めています。

地域との連携



官庁施設は都市の中核施設であり、地域の交流拠点となる場合もあります。国土交通省では、地方公共団体をはじめとする様々な関係者と連携し、まちづくりに貢献するような官庁施設の整備を推進しています。

松江地方合同庁舎の整備においては、「地域住民に愛され親しまれる施設整備のあり方」を探る試みとして、設計段階に市民ワークショップを4回開催しました。市民の方々から出された多くの意見や提言を設計に反映するなど、市民参加型の施設整備を行っています。

公共建築の日と公共建築月間

公共建築の果たす役割を一般の方々に広く知っていただくため、国土交通省は、11月11日を「公共建築の日」、また、11月を「公共建築月間」として地方公共団体等と協力してイベントを実施しています。

平成28年度からは、広島県・広島市などと連携し、広島の魅力ある公共建築物のうち、特に通常立ち入ることができない部分などを一斉に公開する「公共建築の一斉公開」イベントを行っています。公共建築を直接体験することで、親しみや理解を深めていただくことを目指しています。



官庁営繕の災害対応

災害発生時、営繕部では各省各庁に対して、被災した官庁施設の継続使用の可否や応急措置の要否等の判断にかかる技術的支援を実施しています。

・緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）による対応

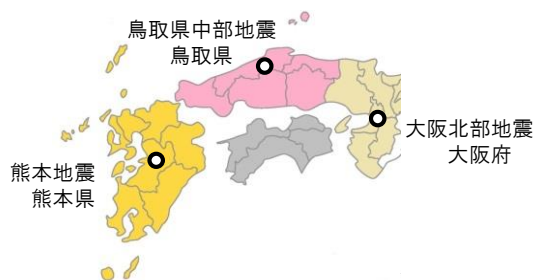
大阪北部地震（平成30年6月）

平成30年6月に大阪府北部を震源とする最大震度6弱の地震が発生しました。

発災後、営繕部から先遣隊として2名の緊急災害対策派遣隊を派遣し、発災から1週間後に、応急危険度判定（※）を行う被災状況調査班として3名を派遣しました。

建築分野のニーズの把握や、茨木市庁舎の被災状況調査や市内の小中学校12校のブロック塀の調査を実施しました。

※大地震により被災した建築物を調査し、その後に発生する余震などによる倒壊の危険性や外壁・窓ガラスの落下、付属設備の転倒などの危険性を判定すること。



ブロック塀の危険性の調査



ブロック塀のひび割れ計測



被災状況調査結果の報告

鳥取県中部地震（平成28年10月）

平成28年10月に発生した、鳥取県中部を震源とする最大震度6弱の地震では、営繕部から7名の緊急災害対策派遣隊を派遣し、学校などの公共建築物について応急危険度判定を行いました。



公共施設の被災状況調査



応急危険度判定を行う隊員



被災状況調査結果の報告

熊本地震（平成28年4月）

平成28年4月に発生した、熊本地方を震源とする最大震度7の地震では、営繕部から8名の緊急災害対策派遣隊を派遣し、合計154件の被災建築物について応急危険度判定を行いました。



被災状況調査の様子



応急危険度判定を行う隊員



被災状況調査の様子

働き方改革

・ 週休2日の推進

建設工事従事者の週休2日の確保に向けて、国土交通省では、営繕工事において、現場閉所を含む週休2日工事のモニタリングを実施し、その阻害要因の把握とその改善方策等の検討を進めています。

・ 生産性向上への取組み

国土交通省では、営繕工事において調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新に至る各段階において受発注者の連携を通じて、建設生産プロセス全体における生産性向上を推進しています。

中国地方整備局では、施工者提案での施工合理化技術の採用を行い、施工BIM（※1）、情報共有システム、デジタルサイネージ（※2）、電子白板（※3）等の各種施工合理化技術を実施しています。

※1 施工段階にBIMモデルという、コンピュータ上に作成した3次元の形状情報と材料の仕様等、建物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを活用すること。

※2 表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や文字を表示する情報媒体。

※3 パソコンの画像を大画面に映し出し、その画面上で直接操作したり、書き込んだりすることができる機器。

広島合同庁舎2号館耐震改修工事における実施例

広島合同庁舎2号館耐震改修工事では、様々な施工合理化技術を活用しています。

- ・ 施工BIM
- ・ デジタルサイネージ
- ・ 情報共有システム
- ・ 電子小黑板
- ・ 電子白板
- ・ 360度パノラマカメラ



施工BIM

配管と壁の干渉チェック



電子小黑板

工事情報を記載した黒板を電子化し、工事写真撮影作業を省力化。



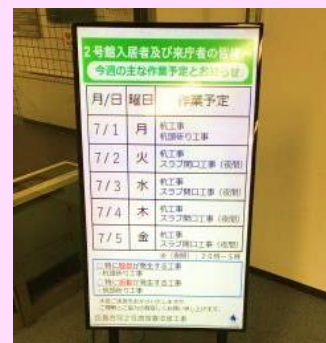
電子白板

説明会や打合せなどの効率化



デジタルサイネージ

工事現場指示や庁舎利用者・周辺住民などに向けた週間工事予定表を電子化し、モニターを活用して効率的に情報を表示。



営繕のひとたち

建築職



安本 昌広（昭和63年入省）
調整課 課長補佐

仕事内容 建築の仕事は、建物本体を担当する建築の技術者と共に、電気、水道、ガス等のインフラを引き込み機能させる電気設備、機械設備の専門技術者が「チーム」で進めていきます。良い仕事には経験豊富な技術者によるチーム編成は不可欠で、営繕部では事案毎にチームを編成し、そのチームが中心となり仕事を進めています。

やりがい・魅力 注文者である各省各庁の職員の方と打合せを重ねる中で、建物に求められる機能を技術的な視点で把握し、時間の許す限り手を動かし試行錯誤し完成させます。注文者にとって今後職場となる大切な空間を創るのは重責ですが、その分、やりがい満載の仕事に出会うことは受け合います。

メッセージ それぞれで国政を担っている各省庁の職場の整備を任せられ、どちらかというと「縁の下の力持ち」ですが、プライドを持ってあたれる仕事です。私達の「チーム」に加わりませんか。

仕事内容 営繕業務の中での企画・計画段階にあたる仕事を担当しています。国家機関の建物の新築や改修工事など事業の企画立案や予算要求方針の決定、整備中の各案件の予算管理・調整等をおこなっています。また、施設を管理する各省庁や他部署との施設整備に関わる相談や調整などの窓口としての役割も担当しています。

やりがい・魅力 営繕部では、企画、設計、施工、検査、保全と様々な立場で自分の専門性を活かし営繕業務を経験する機会があり、ONE TEAM営繕として一丸となって良質な官庁施設整備を推進しています。微力ながらもまちづくりの一翼を担うことに魅力を感じます。事業完成までには営繕部職員だけでなく施設管理者、施設の利用者、設計者、工事受注者、工事監理者など、多くの方々の協力で成り立っており、各段階での調整や問題点の解決など困難もありますが、完成後に自分の携わった施設が国民共有の財産として大切に利用されている姿を見ると当時の苦労が報われ喜びもひとしおです。

メッセージ 官庁訪問やインターンシップなど実際の業務内容を経験する機会もありますので、まずはお気軽に参加してほしいと思います。



中田 浩二（昭和60年入省）
計画課 営繕技術専門官
（現 岡山営繕事務所 技術課長）



富波 秀徳（平成6年入省）
保全指導・監督室 保全指導係長

仕事内容 国家機関の建築物を建てたり修繕したりする工事の監督や建築物の保全に関わる業務をしています。具体的には、工事の立会をしたり、施工図や施工計画書といった工事書類のチェックなどを行っています。保全に関しては、国民共有の資産であり、防災拠点としての役割などもある国家機関の建築物について適正に運用や管理がされるように、施設管理者等からの相談への対応や情報提供のための会議を開催するなど様々な支援を行っています。

以前に従事していた計画課では、工事の企画や予算に関わる業務を担当していましたが、巡り合わせで、その時に自分で予算要求等に関わった建築物を建てる工事の現場監督を現在担当しています。

やりがい・魅力 工事監督として現場に行くことが多く、建物ができあがっていくところを間近で見ることができるという魅力があります。

最近では、建設現場の生産性向上の取組が進められており、BIMなどの新しい技術に触れることもできるため、個人的に新しいものの好きなこともあり、楽しみながら仕事できています。

メッセージ 営繕の業務内容は、一般的に思われているような公務員のイメージとは少し違うかもしれませんが、設計事務所へ外注することが多くはなっていますが、自分たちで図面を書いたり積算することもありますし、作業着とヘルメットで工事現場に行って監督するといった業務もあります。その他にも様々な分野の業務がありますので、興味があれば、ぜひ説明会や官庁訪問に参加してみてください。

仕事内容 私は建築構造担当として、施設管理者や設計事務所と打合せをしながら設計図面や構造計算書の取りまとめをしています。

国の建物と言うと少し堅苦しく、事務所ビルのような四角いものばかりなのでは？と思われるかもしれませんが、最近担当した案件は、六角形の木造ホールや鉄骨造の大スパンの建物など、形も種類も用途も様々です。建物の骨格である構造は後々に大きな変更はできないので、設計当初の方針決定が重要であり最も苦労するところです。意匠・設備との調整は大変ですが、設計が進むにつれて愛着が湧くので、実際に建ちあがった姿を見るのは何より楽しみです。

やりがい・魅力 営繕の仕事は、新築から改修、保全まで、建物の一生に様々な場面から関わることができます。そして、その場面ごとに自分の持っている専門的な知識を活かせることが魅力だと思います。

メッセージ 営繕部には、人としても組織の一員としても目標となる「建物の専門家」がたくさんいます。私もそうなれるよう、日々勉強しながら仕事に取り組んでいます。建物の一生に関わる仕事、一緒にしませんか？

代表的な1日のスケジュール

	PM
AM	12:00 昼食 デスクでお弁当を食べます
8:50 出勤	13:00 設計事務所と打合せ
9:15 始業 メールチェック	16:00 設計図面のチェック
11:00 整備課の担当で打合せ	18:15 退庁 退庁後はジムで運動！



原紺 純花（平成28年入省）

整備課

（現 河川部 河川工事課）



営繕部の外で活躍するひとたち



大島 月子（平成28年入省）

建政部 都市・住宅整備課

仕事内容 本省（霞ヶ関）と自治体との間に立って仲をとりもつ仕事をしています。主な仕事としては自治体が要望される建築関係の交付金や補助金の内容が適切か確認し、中国5県の情報をとりまとめ本省へ報告します。また社会的に問題となる時事問題（建築物の違反等）が起こった際には、自治体から情報を集めて本省へ報告するといった仕事をしています。時事問題以外にも建築物に係る調査（特に耐震や省エネ）を日々行っており、仕事内容は多様です。

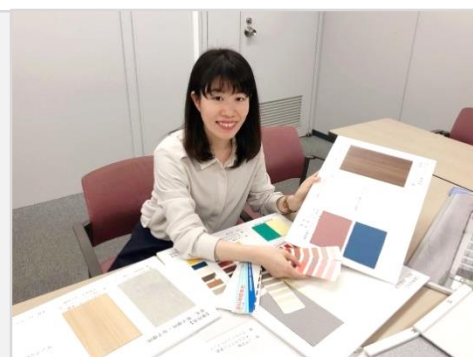
メッセージ 入省した当初は単純に国の建築物を建てる技術者として働きたいと考えていました。経験を積むにつれて、建築基準法や交付金要綱といった決まりごとが策定された理由を知った上で、よりよい建築物が整備されるためにはどうすればよいのか俯瞰的に考えるよう意識するようになりました。各部署を経験することで広い目線を持った技術者を目指すことができる職場だと思います。

全国で活躍するひとたち

仕事内容 建築意匠の設計審査を担当しています。建築物のイメージを設計図面として形にしていく中で、施設の機能や施設利用者の要望が満たされているかの確認や、設計者がその能力を最大限に発揮できるよう調整するのが仕事です。現在、採用された中国地方を離れ九州地方で仕事をする中で改めて、各地域の良さに気づくことができています。

やりがい・魅力 私たちの仕事はひとりで完結するものではなく、常にチームでプロジェクトを進めていきます。ひとりでは解決できないこともチームで、そして各地方の壁を越えて組織として実現していきます。地域を越えて全国に頼れる仲間がいることが、私たちの強みであり魅力のひとつだと思います。

メッセージ 地方整備局の営繕には企画、設計、施工、保全といった仕事の幅広さと、それらに応じて専門性が求められる奥深さがあります。やりがいや魅力は人それぞれですから、きっとあなたの価値観に合ったものが見つかると思いますよ。



勝丸 千尋（平成27年入省）

九州地方整備局 営繕部 整備課

電気職

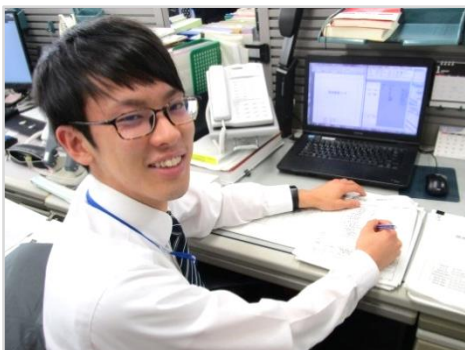


奥原 泰（昭和63年入省）
保全指導・監督室 電気設計審査係長
（現 岡山営繕事務所 保全指導・監督官）

仕事内容 国家機関の建築物である地方合同庁舎・税務署・ハローワーク等の電気設備に関する新築及び改修工事の工事監理を行っています。

電気設備の工事監理は、設計図書にある照明器具・空調機器及びポンプ類の電源制御・受変電設備・LAN・電話交換機等の機器や配管・配線が設計図面や仕様書に適合しているか、建築や機械設備と調整がとれているか、利用時の使い勝手がよいか、今後、保守や改修が行いやすいか等を入居庁、工事受注者、工事監理受注者、設計者と協議しながら行っています。

やりがい・魅力 電気設備は、電力から通信と設備の幅が広く、照明器具の選定やCO₂削減に考慮した照明日射制御や太陽光発電、通信インフラに対応した構内交換機の設計や監視カメラとセキュリティー機器との連携等を考え実現していくことのやりがいと魅力があります。



今川 碧（平成31年入省）
整備課

仕事内容 私は電気設備の担当として、設計図面・資料の審査や、工事に必要な費用を算定する積算業務などを主に行っています。また、設計前、設計中、工事中などに調査や打合せのために現地にも行きます。普段あまり知ることのない各省庁の仕事を知ることができたり、特殊な設備に携わったりすることができます。また建築設備は新しい物への移り変わりが多く、それに対する説明会へ行く機会もあり、勉強する場も豊富です。

やりがい・魅力 自分が設計に関わった建物が完成していくのを見ることはもちろん、建築や建築設備など知らなかった知識を学べることなど、様々な魅力があります。特に、営繕の業務を進めていく中では、各省庁、設計事務所、施工業者、メーカーなど、幅広い方々と関わる機会が多く、色々な話を聞けるのが他には無い魅力だと感じています。

メッセージ 私は電気職として採用されましたが、学生時代は建築・建築設備に関する知識を学んでおらず、不安な面もありました。しかし、上司や先輩方も営繕部に入ってから同じように知識を習得していったと聞いています。丁寧な指導やフォローがあり、仕事外でも気にかけてくださるととても優しく親切な方ばかりで不安も無くなりました。同じように電気職、機械職の方方で選択股に悩んでいる方がいましたら、ぜひ営繕部をお勧めしたいと思っています。

代表的な1日のスケジュール

AM	PM
9:00 出勤	12:00 昼食
9:15 メールチェック・資料作成	13:00 設計資料・各社の見積資料の収集
11:00 整備課の担当で打合せ	15:00 設計図面チェック・積算作業
	18:00 退庁



休日はどう過ごしてる？

若手職員の交流が深く、よく遊びに出かけます。BBQやドライブ、スノーボードなど毎年の恒例行事があり、いつも楽しみにしています。

少しでも時間があればドライブに行っています。中国地方には車で行って楽しむことができるスポットがたくさんありますよ。

祝日と併せて有給休暇を取得することで2日以上旅行によく行きます。登山も趣味なので1日登って翌日休むといったような過ごし方をしています。

D&S（デザインアンドストーリー）列車のひとつであるSL人吉に乗って向かった熊本県の球磨川では人生初のラフティングを体験し、九州の大自然を感じました。



機械職

仕事内容 機械設備の担当として、建築設備（空調・衛生・昇降機等）の設計・積算を行っています。通常は、設計事務所に設計業務を委託しており、私の業務内容は設計事務所が作成した図面や積算資料が求められているニーズに答えているか、国の基準に適しているか、その他問題点が無いかなどのチェック作業を行います。設計事務所との連携が大切なため、打合せを何度も重ねながら、より良い物を作り上げていくことを心掛けています。また、規模の小さい設計や進行中の工事の変更設計などは自分で設計・積算をすることもあります。

やりがい・魅力 自分が設計を担当した工事が出来上がっていく様子や、実際に利用する各省庁の喜びを間近に感じられ、とてもやりがいがあります。

メッセージ 機械職の方は、建築のことはあまり想像が付かないかと思います。しかし、入省して感じた事は、機械職や電気職は建築職と同じくらい必要不可欠な役職だということです。学生時代はあまり意識することがありませんでしたが、考えてみれば空調や衛生などの設備は、生活する上での必需品です。自分の身の回りにある機械に少しでも興味があれば、ぜひ営繕部を将来の選択肢に加えてみてください。



森重 祐太（平成29年入省）
整備課

営繕部の外で活躍するひとたち



竹田 享平（平成26年入省）
河川部 河川工事課

仕事内容 あまり馴染みがないかもしれませんが、土木事業においても、「土木営繕」と呼ばれる「営繕」の仕事があります。私が所属している河川部河川工事課では、この「土木営繕」の仕事をしています。仕事内容としては、中国地方整備局管内の土木施設（※1）を対象とした新築、改修工事等の設計、工事監督等を行うことです。さまざまな土木施設がありますが、一番イメージしやすい施設は、国が管轄する道の駅の情報施設やトイレだと思います。私は「土木営繕」の機械設備担当として、トイレや空調など、土木施設の機械設備分野に関する設計業務や工事の監督業務に携わっています。

※1）港湾空港関係を除く全ての事務所・管理所の庁舎や宿舍のほか、河川、道路、公園事業に伴う建築物

やりがい・魅力 土木営繕では、営繕部とは異なり、同じ課で設計・工事監督を行っていますので、自分で設計した建物が実際に建っていく過程を身近で感じることができるのが魅力だと思います。

メッセージ 営繕部では経験しない、国が管轄する道の駅の情報施設やトイレ、トンネル用の電気室、ダムや河川施設の上屋、除雪基地、公園施設など、さまざまな土木施設の新築・改修にも関わることができます。ご興味のある方は、ぜひ営繕という仕事について考えてみてください。

代表的な1日のスケジュール 【デスクワークver】

AM
9:00 出勤
9:15 メールの確認・資料作成

PM
12:00 昼食
13:00 設計書類・工事書類のチェック
15:00 受注者とメールや電話で打合せ
18:15 退庁

【出張ver】

AM
9:00 出勤
9:15 打合せ資料等の準備
11:00 工事現場へ出発

PM
12:00 昼食（出張先にて）
13:30 現場定例会議（工事現場にて工事に関する打合せ）
16:00 庁舎へ帰庁
17:00 打合せ内容の整理・書類作成
18:15 退庁



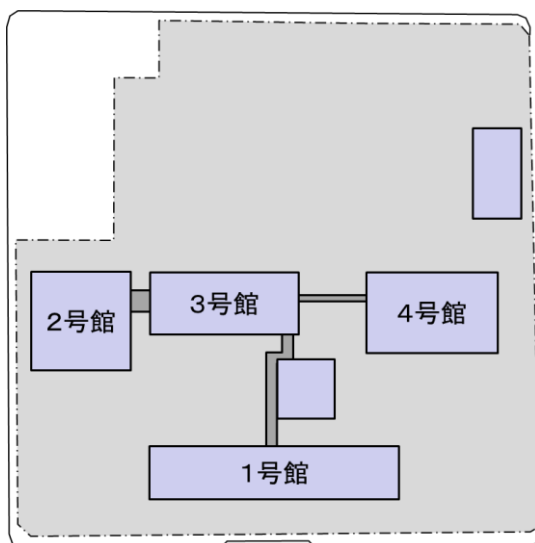
プロジェクト



広島合同庁舎

Hiroshima Government Building

(2号館耐震改修工事平成29年度～令和3年度予定、広島県)



広島合同庁舎は1号館から4号館までの4つの建物（左図）から構成され、約30の国等の官署が入居する大規模な官庁エリアとなっています。

中国地方整備局をはじめとする複数の官署が入居しており、災害発生時には災害応急対策活動の拠点として重要な機能を担います。

広島合同庁舎2号館では、災害応急対策活動を行ううえで必要な耐震性能を確保するため、営繕部では平成29年度から5年間にわたる耐震改修工事を予定しています。工事では、地下階部分の中間階に免震層を設置する計画です。



出典：国土地理院

広島合同庁舎の周辺には、広島県庁、広島法務総合庁舎、広島高等裁判所・地方裁判所など、多くの行政機関が立地しています。

広島合同庁舎に入居している官署

広島合同庁舎には、各省庁のブロック機関が入居しています。

人事院
人事院事務局

内閣府
公正取引委員会事務所
支所、管区警察局

総務省
行政評価局

法務省
矯正管区、法務局

財務省
財務局、国税局

厚生労働省
地方厚生局、労働局、
労働基準監督署

農林水産省
中国四国農政局広島県
拠点

経済産業省
経済産業局、産業保安
監督部

国土交通省
地方整備局、運輸局、
地方測量部、地方気象
台

環境省
地方環境事務所（広島
事務所）

防衛省
防衛局、自衛隊地方協
力本部

海上保安大学校

Japan Coast Guard Academy
(煉瓦ホール平成15年度改修、広島県)



煉瓦ホール



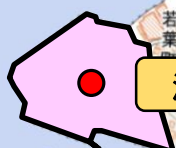
国際交流センター 全景

海上保安大学校は、将来海上保安庁の幹部となる職員を養成するための教育・訓練などを実施する機関です。

中国地方整備局では、これまで、海上保安大学校の一連の施設整備を実施してきました。

煉瓦ホール（大正3年建設の旧火工場機械室）については、耐震補強のうえ建設当時の意匠を保存・復原しており、平成29年には「日本遺産」の構成文化財に認定されました。

海上保安大学校では、アジア諸国の海上保安機関の能力向上支援のため研修実施体制の強化を図ることとしており、新たに実施する研修や宿泊に対応するため、大学校の構内に国際交流センターを整備しました（平成30年度～令和元年度）。



海上保安大学校

呉地方合同庁舎

呉市役所



国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

Hiroshima National Peace Memorial Hall for the Atomic Bomb Victims

(平成13年度完成、広島県)

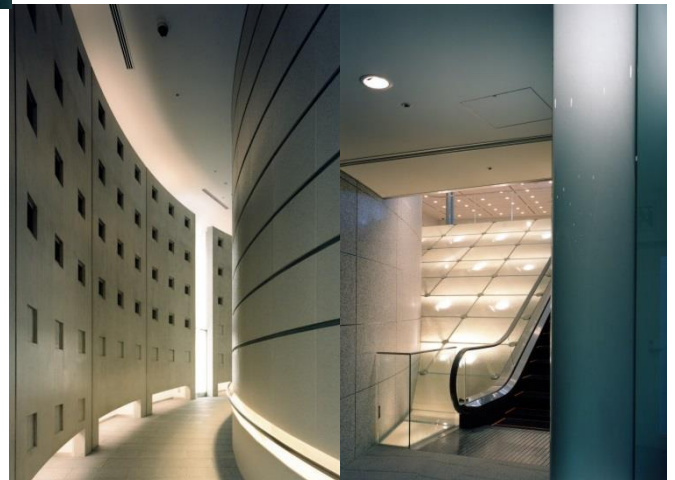


国立広島原爆死没者追悼平和祈念館は「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)」に基づいて建設され、「平和祈念・死没者追悼」及び「被爆関連資料・情報の収集及び利用」の機能を担っています。

本施設は平和記念公園の中に建設されており、慰霊碑周辺の景観に配慮し、かつ、公園全体の雰囲気との調和を図るため、施設のほとんどの部分を地中化しています。



出典：国土地理院





呉地方合同庁舎
Kure Government Building
(平成25年度完成、広島県)



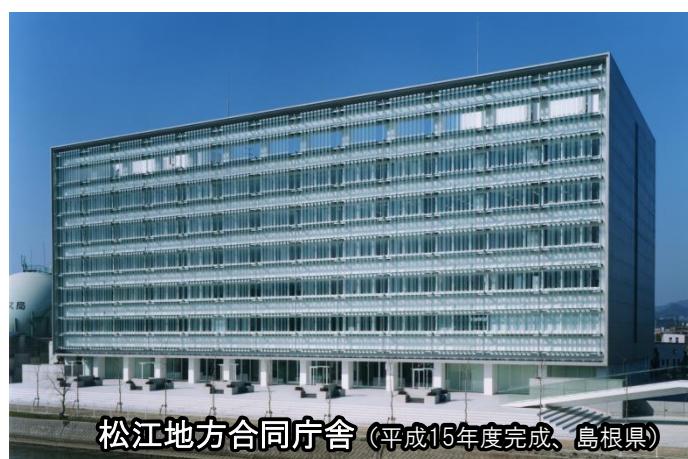
呉地方合同庁舎は、広島県呉市の中心部に位置し、法務支局、財務局出張所、税務署、労働基準監督署及び検察支部・区検察庁の合計5官署が入居しています。

軍港・鎮守府が置かれた街の歴史を感じさせるとともに都市景観に調和したレンガ調タイルを基調とした外観、桜並木の保存と緑化による「潤い」の創出及び来庁者を迎え入れる開放的なアプローチ空間により、親しみのあるデザインとしています。

また、呉市の気候特性である海風・陸風を取り込む方角に窓を設け、階段の煙突効果を利用した自然換気の促進による空調負荷の低減を図り、環境に配慮した庁舎となっています。



廿日市地方合同庁舎 (平成20年度完成、広島県)



松江地方合同庁舎 (平成15年度完成、島根県)



広島港湾合同庁舎
(昭和44年度完成、平成26年度耐震改修、広島県)



下関地方合同庁舎
(昭和53年度完成、平成28年度耐震改修、山口県)



岡山法務総合庁舎（平成25年度完成、岡山県）



広島法務総合庁舎（平成23年度完成、広島県）



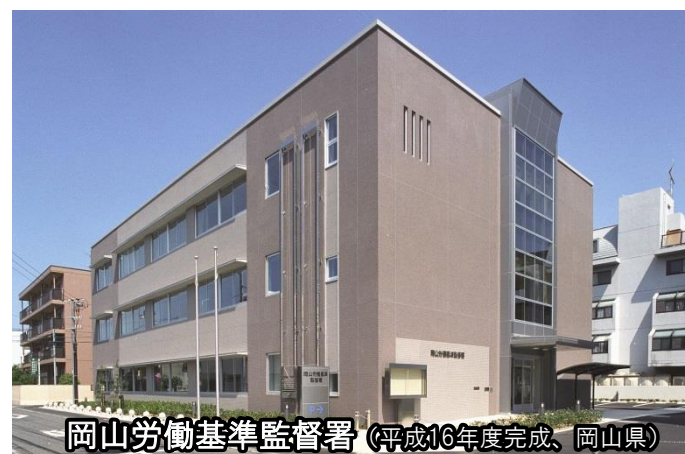
岡山運輸支局（平成26年度完成、岡山県）



西条税務署（平成23年度完成、広島県）



府中区検察庁（平成22年度完成、広島県）



岡山労働基準監督署（平成16年度完成、岡山県）



美保航空基地（平成22年度完成、鳥取県）



水産大学校講義棟（平成19年度完成、山口県）

採用されるには

(1) 国家公務員採用試験（一般職）を受ける

令和3年度のスケジュールの場合（大卒程度試験）

申込み（インターネット）：4月2日（金）～4月14日（水）

第1次試験（筆記）：6月13日（日）

第1次試験合格発表：7月7日（水）

第2次試験（人物）：7月14日（水）～8月2日（月）（第1次試験合格通知書で指定）

最終合格者発表：8月17日（火）

※人事院ホームページ等で最新の情報を確認してください。

(2) 業務説明会への参加や官庁訪問を行う

試験に合格するだけでは、国家公務員になれません。採用のための重要なステップとして、第1次試験以後の「個別業務説明会」や、第1次試験合格発表以後の「官庁訪問」があります。業務内容についてより詳しく知ることができるとともに自己PRの重要な機会ですので、必ず参加するようにしてください。

※中国地方整備局ホームページ等で最新の情報を確認してください。

(3) 中国地方整備局の採用面接を受ける

最終合格発表以降に、採用のための面接を実施します。面接後に中国地方整備局への採用の可否が決まります。

勤務条件

初任給

大卒程度試験合格者で広島市内勤務の場合 182,200円～（令和2年12月現在）

このほか、地域手当、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当（ボーナス）などが支給されます。

勤務時間

整備局本局 9：15～18：00（7時間45分）

岡山営繕事務所 8：30～17：15（"）

※フレックスタイム制度もあります。

勤務地

営繕職員となった場合は、整備局本局（広島市）を拠点に、岡山営繕事務所（岡山市）や、他の地方整備局などに勤務することもあります。

研修・OJT

中国地方整備局営繕部では、特に若手職員の技術力強化を図るため、多くの研修の機会を提供するとともに、OJT（On-the-Job Training：職場内の実務を通じての教育訓練）に力を入れています。

研修の種類	時期・機関	場所	内容
新規採用職員研修	採用直後の15日間程度	中国技術事務所 （広島市安芸区）	国家公務員としての心構え、国土交通行政の基礎知識の習得
初級課程営繕科研修	採用年の6～7月頃の7日間程度	国土交通大学校 （東京都小平市）	営繕業務の基礎知識の習得
建築実務研修	2年目以降の係員、随時、4～5日間程度	関東、九州等	営繕業務の実務能力の養成
専門課程研修	主に係長、随時、11～18日間程度	国土交通大学校 （東京都小平市）	建築計画、設備計画、工事監理、保全、まちづくりなどテーマ毎に専門知識を習得

国・県・市の若手営繕職員合同勉強会

中国地方整備局では、広島県及び広島市の若手営繕職員に声をかけ、合同勉強会を開催しています。この勉強会により、効果的かつ効率的に技術力の向上を図るとともに、組織を超えた枠組みで公共建築を俯瞰することで視野を広げ、交流を深めることで、連携して公共建築を優れたものとしていくための土壌を育むことを目指します。





国土交通省中国地方整備局 営繕部計画課
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

所在地：広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館8階
電 話：082-221-9231（内線5151）
U R L：http://www.cgr.mlit.go.jp/

営繕部についてより詳しく知りたい方へ

国土交通省 官庁営繕部 ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/gobuild/>

中国地方整備局 営繕部 ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/cginfo/syokai/busyo/eizen/main/>

中国地方整備局 岡山営繕事務所 ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/okaei/>

中国地方整備局 営繕部 Facebook

<https://www.facebook.com/cgr.eizen87/>

中国地方整備局 入省案内

<http://www.cgr.mlit.go.jp/info/recruit/>



中国地方整備局営繕部 Facebook